出エジプト記 結晶の学び（二）(2) 第 18 週　　契約を結ぶ神と神の諸契約（1）神が人と結んだ主要な契約

鳥瞰	神が堕落した人と結んだ契約は、創世記第 3 章 15 節の女の子孫に見ることができます。神がノアと結んだ契約と神の契約のしるしである虹が表徴しているのは、わたしたちが契約の召会であり、恵みの新しい契約の実際の中に生きているということです。神がアブラハムと結んだ契約は、キリストがアブラハムの子孫として、地のすべての家族の祝福のためであるということです。最後のアダムとして、アブラハムの唯一の子孫は命を与える霊と成りました。神がダビデと結んだ契約は、復活したキリストがダビ デの子孫として、神の新約エコノミーを完成して、手 順を経た三一の神を彼のからだの肢体の中へと分与するということです。律法は神の山の上で公布されましたが、律法とその規 定はなおも契約として制定される必要がありました。	
	真理要点	経験適用
1日	1.キリストが女の子孫であるということは、何をわたしたちに啓示しますか？ 2 ガラテヤ書 4 章 4 節から 6 節の二種類の遣わすことを説明してください。	1. 女の子孫としてのキリストは、ご自身を人性の中へと分与することを通して完全な人と成った神全体を暗示します。神の肉体と成ることは分与でした。神は彼の神性を人性の中へともたらすことを願い、創世記第 3 章 15 節で神の願いに関して予言しました。しかしながら、この約束は、マタイによる福音書第 1 章でマリアが身ごもるまで成就しませんでした。女の子孫、処女から生まれた男の子の目的は、サタンを滅ぼし、キリストにある信者を罪と死から救うことでした。 2. 4 節でパウロは、神は御子を遣わされたと言い、6 節では、神は御子の霊を遣わされたと言っています。彼は 贖いを通して、わたしたちが子たる身分を所有する道を開いてくださいました。子たる身分の実際は、命と円熟にかかっており、その霊によってのみ来ます。ですから、6 節は、神はわたしたちの心の中へ、御子の霊 を遣わされたと言明します。
2日	1．わたしたちはどのようにして女の内側の強い部分になることができますか？ 2．エペソ 6 章 17 節から 18 節による戦う方法とは何でしょうか？	1．女の内側の強い部分になるかぎは、わたしたちの内なる人の中で増強されることです。男の子となるためには、わたしたちの内なる人の中で増強されるだけでなく、キリストのすべての豊富で養われなければなりません。強くなる方法は、神のすべての武具、すなわち、すべてを含むキリストを身に着けることです。神のすべて の武具を身に着けるとは、すべてを含むキリストを上に着ることです。すべてを含むキリストのあらゆる面が、わたしたちのおおいとならなければなりません。 2．戦う方法は、すべての祈りの手段によって神の言葉を受け取ることです。わたしたちは単に一つの祈り方だけでなく、すべての祈りの手段を持ち、わたしたちの霊を活用してさまざまな方法で祈り、神の言葉を受け取るべきです。わたしたち自身の思想や言葉をもって敵と戦うことは、何の役にも立ちません。わたしたちの思いや発言を使って彼と戦うことはできません。敵と戦う最も有効な方法は、御言を祈り読みすることです。その時あなたは、女の内側の強い部分になっているのを証しすることができます
3日	1．虹は聖書の中では何を表徴しますか？　神とノアの間で立てた契約のしるしとして虹は何のことを言っていますか？ 2．虹は赤、黄色、青色の三原色の組み合わせから生み出されますが、それぞれは何を表徴しますか？	1．創世記第 9 章で虹は、ご自身の契約を守ることでの神の信実を表 徴します。神ご自身は信実です。 彼はご自身の言葉に対して信実であり、彼の言葉は彼の契約です。虹は聖書の終わりに再び見られ、神の信実が永遠に存続することを示します。ノアの時代、雲の中の虹はしるしであって、神が信実であり、人とあらゆる生き物との彼の契約を守り、決して再び人類 を洪水で滅ぼさないことを表明しました。 2. 赤色は火の色であり、神の聖を指しています。黄色はこはく金の色であり、神の栄光を表徴します。青色はサファイアの御座の色であり、神の義を表徴します神の義、聖、栄光は三つの神聖な属性であり、罪人を神に近づけないように　します。キリストは来て十字架上で死んで、神の義、聖、栄光の要求を満たし、復活させられました。彼は今やわたしたちの義、聖、栄光です
4日	1．創世記 17：7 で神がアブラハムに与えた約束の言葉を、パウロはどのように言っていますか？ 2．　アブラハムの祝福が約束のその霊であることを説明してください。	1．創世記第 17 章 7 節で、神はアブラハムに対して、契約を立てると言われました。子孫に関するこの言葉は、パウロによってガラテヤ人への手紙第 3 章 16 節で説明されました。彼は言いました、約束はアブラハムとまた彼の子孫にも語られました。あの子孫とは一人を指しています、それはキリストです。アブラハム の一人の子孫が、命を与える霊と成りました。 2．アブラハムの祝福は、約束された霊、すなわち、キリストの実際を指しています。三一の神の究極的完成としてのその霊は、ご自身をキリストの信者の中へと分与するためであり、アブラハムの子孫です。命を与える霊は、かたちが変わったアブラハムの末です。わたしたち罪人に対する最高の祝福です。
5日	1．復活のキリストはどのようにして神の確かな憐れみとなりましたか？ 2．女、アブラハム、ダビデの子孫の約束んの中で、神のエコノミーと神の分与には、どのような三重の目的がありますか？	1．復活したキリストは、神の確かなあわれみであり、キリストはその中心と実際です。わたしたちの状況がみじめで、神の恵みに符合しなかったので、キリストは肉体と成る段階を取って、神を恵みとしてわたしたちにもたらしただけでなく、さらに死と復活の段階を取って、復活の中でわたしたちに対する確かなあわれみとなられました。わたしたち は今や神を恵みとして受ける正しい地位にいます。 2．この三重の目的：第一は、 サタンを滅ぼして、わたしたちを罪と死から救うことです。第二 は、わたしたちの祝福と嗣業として、究極的に完成された三一の神 をわたしたちに受け継がせることです。第三は、わたしたちをキリストの王職にあずからせることです。この三つの項目は、神の完全 な救いを全体的な方法で網羅しています。神の完全な救いは、わたしたちをサタンの手から、また罪と死から救い出すこと、わたしたちの祝福である神ご自身の完全な嗣業の中にわたしたちをもたらすこと、王国時代にキリストの共同の王としてキリストと共に王職にあずからせることです。
6日	1．モーセは祭壇、十二の柱、ささげ物と血によって契約を制定しましたが、祭壇と柱の意義を述べてください。 2 出エジプト記 24 章 6 節と 8 節で、祭壇にささげられた犠牲の血は何を表徴しますか？	1. 祭壇はキリストの十字架を象徴し、わたしたち堕落した罪深い人が、神の律法を守ることができないことを示します。ですから、わたしたちは十字架を通して、キリストによって贖われ、終わらされ、置き換えられる必要があります。柱は証しを表徴します。十二の柱は、イスラエルの十二部族を代表し、神の目に、十二部族 が神の証しとしての柱、すなわち、律法に描写されているように、 神が彼の美徳と属性において何であるかの反映であるべきであることを示します。 2. 祭壇にささげられた犠牲からの血は、キリストの血を予表し、贖いのため、また罪の赦しと清めのためでした。この血はまた、神と彼の民の間の契約を制定しました。血はここで「契約の血」と呼ばれています。血は神の民が、神の臨在の中に入り、彼に注入され、そして神が何であるかの生ける証し、生ける描写としての柱に構成されることができるためです。
まとめ	神がノアと結んだ契約と神の契約のしるしである虹は、もはや死の裁きはないという契約を守ることにおいて神が信実であることのしるしです。わたしたちは新しい契約の下に生きなければならず、どのような失敗、弱さ、暗やみ、消極的なものも信じてはなりません。わたしたちは契約を持っている民であり、あらゆる状況に応じる約束の御言葉を持っています。当初から、神の意図は、人に戒めを与えて守らせることではなく、ご自身を彼らの中へと分け与えることができるようにすることでした。彼らの天然の、堕落した、宗教的な観念は、神が彼らにある事をご自身のために行なってほしいというものであり、彼らはこれらの 事を行なうことができると思っていました。神は彼らに戒めを与えて、律法（旧契約）を制定し、彼の要求がいかに高く、彼らがこれらの要求を満たすことがいかにできないかを、彼らに示す必要がありました。わたしたちがミングリングされた霊にしたがって歩き、命の霊の法則の内側の働きを持つことによって、律法の義なる要求は、自然に、また無意識のうちにわたしたちの中で満たされます。	